



第9回 漂着物の調査 開催報告

開催日 2023年6月24日 (土)

1. 遠州海岸の現状説明

SDGs|目標14 海の豊かさを守ろう| の取組みの一環として、「海洋・海洋資源の保全」について、身近な海岸の状況から共に考える講座を開催した。

◎講師：Hamamatsu-浜松の海を守る会 清水浩利氏

- ・ごみ問題
- ・野生生物への影響
- ・沿岸部のごみ問題
- ・日本一きれいな街づくりをしよう！
- ・漂着ごみ問題



3. 参加者の声

- ・ごみの種類や量を調査したことで、どんなごみを中心的に拾えばいいかなどを考え、まとめることができた。よい経験ができたと思いました。
- ・漂着物の8割が陸から出る。それが川に落ちて海に流出する。野生動物への影響も大きいことが分かった。
- ・飲料用ボトルが思っていた以上に崩れていなかったのが驚きました。(もう少し壊れていたり割れていたりしているかと思っていた) また、発砲スチロールの破片が多い!! (発砲スチロールは、バラバラに崩れているのが原因だと思う)
- ・たばこの吸い殻の量に驚いた。ポイ捨てる人が多いから？
- ・分別の種類が多く、中々、分別が難しかった。また、それぞれの品目も量が多く考えさせられた。
- ・海洋ごみは、プラ系が多いと思っていたら生活用品が多いということに気づき新たな学びを深めることができました。また、ごみがないときがあるという話には驚きました。

2. 漂着ごみの調査

- ・4月2日回収@馬込川右岸河口 6袋分 **約16kg**
- ・漂着ゴミの分別作業と「ごみ調査・データカード」の調査対象45品目の個数を数えた。(破片は、直径2.5cm以上のものが対象となっています。)

回収量 合計977個

1位	発砲スチロール破片	248個
2位	プラスチックシートや袋の破片	151個
3位	生活雑貨 (ハブラシ・文房具)	93個
4位	飲料用プラボトル (ペットボトル)	90個
5位	食品容器 (プラスチック)	71個

